

参加  
無料

# 協働提案事業サポート講座

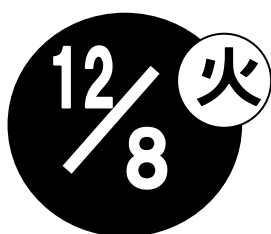
～行政・民間・NPOそれぞれから見た地域の課題解決とは～



まちづくりを楽しく、「自分ゴト」として考えられる人々を増やすには？  
どうすれば、年代・所属・立場を超えて人々を巻き込み、より良い地域づくりに取り組めるのか？

この講座では、行政・民間・NPOの3つのキャリアを経験した講師をお招きし、それぞれの立場から見た地域の課題解決や協働、NPOの基盤強化などのテーマについて、くわしいお話を伺います。

お誘い合わせの上、ご参加ください。



## 13時30分～15時30分

## 茂原市役所 1階 市民室 & オンライン

茂原市道表1番地 **0475-20-1505** (生活課直通)

内容

- ・行政・民間・NPOのそれぞれの強み、課題解決に必要な協働とは
- ・組織の基盤強化（新しいボランティア、クラウドファンディングなど）
- ・ワークショップ（対話・交流） ほか

対象

- ・市民活動団体、地域まちづくり協議会のメンバー  
ほか、まちづくりに関心をお持ちの方

定員

30名（先着順）

※感染症予防のため、オンラインでの開催とします。  
※オンライン参加が難しい場合は、オフラインでの参加も可能です。

申込締切

12月1日（火）

申込み・問合せ

茂原市役所生活課 TEL0475-20-1505・FAX20-1600  
seikatu@city.mobara.chiba.jp

### 講師紹介



上原 一紀氏

株式会社 CALICO DESIGN 取締役。大学卒業後、千葉県庁に入庁。市民活動支援部署にてNPO支援、中期計画策定等の業務に従事。その後、民間の人材会社に転職。人事コンサルティング経験を経て、2020年4月からプロボノを活用した社会課題解決に取り組む認定NPO法人サービスグラントに勤務。2020年7月には、株式会社 CALICO DESIGN 取締役に就任。

その他、クラウドファンディングプラットフォーム FAAVO 千葉幕張、まちづくりゲーム団体 UrboLab など、複数の公益活動、地域活動に取り組んでいる。

## 協働提案事業とは

人口減少・少子高齢時代を迎え、市民等、市及び議会は、地域内の様々な公共的課題を解決していくため、それぞれの役割を認識し、十分な協議を経て、連携、協力してまちづくりに取り組むよう努めるものとされています（まちづくり条例第 18 条第 1 項）。

「協働提案事業」は、市民活動団体が有している独創的なアイデアや豊富な経験・ノウハウを活かして、より効果的に事業を実施し、地域の課題の解決を目指すための仕組みです。

「協働提案事業」では、市民活動団体と市が、地域の公共的課題を解決するため、十分に協議を重ね、相互理解を深め、役割や責任の分担、連携や協力のあり方を見出し、互いの自主性及び自立性を尊重しながら取り組みます。



協働提案事業「茂原公園生物多様性保全事業」  
提案団体：茂原公園自然愛好会



協働提案事業「防災情報は冷蔵庫から」  
提案団体：ボラポイント ボラエモン

## これまでに開催した講座

平成 30 年 7 月 6 日※

「地域をつなげ、活力を引き出す手法と着眼点」

講師：株式会社ソーレ代表 東 浩司氏

参加者：14 名（一般 9 名、職員 5 名）



平成 31 年 2 月 13 日※

「誰もが生きやすい社会を創るため、私たちができること」

講師：株式会社シーズブレイス代表取締役 森林育代氏

参加者：12 名（一般 9 名、職員 3 名）

※「協働提案事業サポート講座」は隔年で開催しています